

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和8年6月定例会

観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、Velo-city 2027 Ehimeの準備状況についてであります。

このことについて一部の委員から、イタリア・リミニでの会議参加を生かした準備状況はどうか。また、実行委員会参画市町との連携はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、リミニでは、開会式の演出や自転車パレードのコース等、その国や地域の歴史文化を踏まえた会議内容となっており、本県でも、世代や性別を問わず多く利用され、生活に深く根付いている日本独自の自転車文化や関連施策、その効果など、海外から関心の高い内容を盛り込んだプログラムを構築し、参加者の印象に残る会議となるよう準備を進めている。

また、開催地となる松山市とは各種施設の利用や自転車パレードの運営等で連携し、今治市とは世界に誇るしまなみ海道の視察やエクスカージョンの実施に旅行業者も含めて連携することで世界に情報発信するほか、今年度のサイクリングしまなみ2026でも開催をPRしたい旨の答弁がありました。

第2点は、えひめ県立高校教育改革事業についてであります。

このことについて一部の委員から、今治工業高校及び宇和島水産高校の整備は企業ニーズをどう反映したのか。また、6月補正予算に北条清新高校と松山中央高校を計上しない理由は何かとただしたのであります。

これに対し理事者から、今治工業高校は、造船教育推進委員会において、地元造船企業や舶用工業企業から、宇和島水産高校は、既存のコンソーシアムにおいて、地元水産企業から、それぞれニーズを丁寧に聴取しており、愛媛大学の教授等の専門的な知見も踏まえ、ニーズの高い実験設備やスマート造船、水産に対応した施設設備の導入を計画に盛り込んでいる。

また、高校教育改革に係る国の支援期間は令和10年度末までの3年間であり、北条清新高校と松山中央高校は既存校舎の改修等が中心で、新築に比べ短

期間での施工が可能であるため、今回の補正予算での計上は見送っている旨の答弁がありました。

第3点は、特殊詐欺対策についてであります。

このことについて一部の委員から、地域との接点が少ない高齢者世帯に特殊詐欺対策を浸透させる取組、また今後の課題はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、企業イベントや地域の会合での啓発といった従前の対策に加えて、各家庭への巡回連絡や地域のコミュニティへの協力依頼により、国際電話不取扱受付センターの加入促進などの取組を進めてきたほか、本年8月から11月の間を重点強化月間とし、県内32か所に特設ブースを設けて、特殊詐欺対策アプリのインストール支援等を強化する予定である。

今後の課題として、特殊詐欺被害の多くを占める高齢者が、周囲に相談できていない実態を踏まえ、同居別居を問わず、家族間で日頃から資産の管理等を含めた細かなコミュニケーションを図ることが被害の早期発見、拡大防止に繋がるとの認識を広める必要がある旨の答弁がありました。

このほか、

- ・愛顔えひめの文化祭2028の準備状況
- ・青森国スポに向けた取組
- ・松山城北特別支援学校における現状と今後の方針
- ・県立学校振興計画後期計画
- ・交番の勤務体制の変化と治安への影響
- ・違法薬物の現状と対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。